

# JAFTMA

JAPAN FISHING TACKLE MANUFACTURERS ASSOCIATION

令和6年4月30日 発行 第94号

## 第46回理事会開催報告

去る、令和6年3月22日（金）に日本フィッシング会館にて、第46回理事会が開催されましたので、概要を報告致します。

第1号議案 「釣りフェスティバル」に関する件

第2号議案 委員会活動報告に関する件

ア. 現状報告（今期令和5年度最終活動見込みを含む）および

イ. 来期（令和6年度 / 2024年度）事業計画（案）に関して

(1) LOVE BLUE委員会報告  
※マナー広報 2年間の活動報告・質疑 サニサイド社

(2) JAF実行委員会報告（第1号議案を持って割愛）

(3) 規格・安全委員会報告

(4) 市場調査委員会報告

(5) 広報・組織委員会報告

① 広報拡大WG ② 組織強化WG

第3号議案 プロジェクト活動報告に関する件

ア. 現状報告（今期令和5年度最終活動見込みを含む）および

イ. 来期（令和6年度 / 2024年度）事業計画（案）に関して

(1) 情報収集分析プロジェクト報告

(2) 海外戦略プロジェクト報告

第4号議案 今期令和5年度収支見込及び来期令和6年度（2024年度）収支計画（案）に関する件

(1) 【3つの事業区分とそれぞれの収支状況】による概要

(2) 公益目的支出計画進捗想定（今期および来期見込み）

(3) 全体収支見込及び収支予算

(4) LOVE BLUE事業収支見込及び収支予算

(5) JAF事業収支見込及び収支予算

(6) 来期キャッシュフローについて

第5号議案 会長・専務理事の職務執行状況の報告に関する件

第6号議案 その他報告承認事項に関する件

(1) 会員代表者変更及び入・退会会員の件

(2) (一社) 日本釣用品工業会名義使用許諾申請に関する件

(3) 2024年11月理事会地方開催に関する件

(4) 次回、総会・理事会スケジュール

(5) 連絡事項

※全ての議案が承認されました。

以上

### JAFTMA NEWS Pick up photos



水中クリーンアップ活動



第2回釣用品の国内需要動向調査報告書に関するセミナー



TOKYO outside Festival 2024 @新宿中央公園



### CONTENTS

第46回理事会開催報告	P.1	Pick up photos	P.1	釣具の輸出入推移表	P.2	「釣りフェスティバル2025」に向けて	P.2	LOVE BLUE委員会からのお知らせ	P.3
規格・安全委員会からのお知らせ	P.4	広報・組織委員会からのお知らせ	P.4	海外戦略プロジェクトからのお知らせ	P.5	会員動向	P.6	事務局だより	P.6

### 目次

## 釣具の輸出入推移表（財務省通関統計より）

### 輸出高（金額 FOB、千円）

年（暦年）		2022上半期（令和4年1月～6月）			2022下半期（令和4年7月～12月）			2022年度（令和4年1月～12月）		
品目名	数量単位	数量	金額	伸び率	数量	金額	伸び率	数量	金額	伸び率
釣竿	pcs	6,234,990	3,790,856	123.5%	5,806,688	4,461,216	132.8%	12,041,678	8,252,072	128.3%
釣針	千GS	5,202,669	2,692,198	106.5%	5,046,953	2,618,766	98.5%	10,249,622	5,310,964	102.4%
擬餌針	GS	270,394	1,767,490	103.9%	314,019	1,990,850	104.5%	584,413	3,758,330	104.2%
釣用リール	pcs	19,889,573	10,576,525	139.6%	11,478,092	12,143,669	159.9%	31,367,665	22,720,194	149.7%
その他（たも網、捕虫網、および狩猟用具類）	—	—	4,986,171	140.8%	—	4,387,105	108.1%	—	9,373,276	123.4%
輸出高	—	—	23,813,230	129.3%	—	25,601,606	130.8%	—	49,414,836	130.1%

2023上半期（令和5年1月～6月）			2023下半期（令和5年7月～12月）			2023年度（令和5年1月～12月）		
数量	金額	伸び率	数量	金額	伸び率	数量	金額	伸び率
4,667,018	4,416,435	116.5%	2,502,945	4,166,237	93.4%	7,169,963	8,582,672	104.0%
4,088,538	2,154,205	80.0%	4,175,649	2,184,995	83.4%	8,264,187	4,339,200	81.7%
240,761	1,699,649	96.2%	234,441	1,895,979	95.2%	475,202	3,595,628	95.7%
10,658,243	11,916,946	112.7%	10,227,901	12,146,877	100.0%	20,886,144	24,063,823	105.9%
—	2,913,415	58.4%	—	2,722,077	62.0%	—	5,635,492	60.1%
—	23,100,650	97.0%	—	23,116,165	90.3%	—	46,216,815	93.5%

### 輸入高（金額 CIF、千円）

年（暦年）		2022上半期（令和4年1月～6月）			2022下半期（令和4年7月～12月）			2022年度（令和4年1月～12月）		
品目名	数量単位	数量	金額	伸び率	数量	金額	伸び率	数量	金額	伸び率
釣竿（部品を含む）	pcs	2,823,766	12,818,747	118.3%	2,139,826	14,975,341	123.6%	4,963,592	27,794,088	121.1%
釣針	千GS	17,625,406	8,180,251	125.6%	18,187,616	9,054,076	118.8%	35,813,022	17,234,327	121.9%
釣用リール	pcs	4,926,436	7,276,251	105.5%	4,174,628	7,625,393	110.2%	9,101,064	14,901,644	107.9%
その他のもの	—	—	8,697,922	124.1%	—	8,084,004	118.6%	—	16,781,926	121.4%
輸入高	—	—	36,973,171	118.3%	—	39,738,814	118.7%	—	76,711,985	118.5%

2023上半期（令和5年1月～6月）			2023下半期（令和5年7月～12月）			2023年度（令和5年1月～12月）		
数量	金額	伸び率	数量	金額	伸び率	数量	金額	伸び率
1,884,418	11,613,497	90.6%	1,231,173	7,211,239	48.2%	3,115,591	18,824,736	67.7%
17,865,724	8,191,849	100.1%	16,569,933	7,117,631	78.6%	34,435,657	15,309,480	88.8%
4,197,328	6,965,817	95.7%	4,952,169	6,936,014	91.0%	9,149,497	13,901,831	93.3%
—	6,948,690	79.9%	—	5,063,390	62.6%	—	12,012,080	71.6%
—	33,719,853	91.2%	—	26,328,274	66.3%	—	60,048,127	78.3%

## 「釣りフェスティバル2025」に向けて

JAF実行委員会（荒井一郎委員長）では、「釣りフェスティバル2025」の開催に向けて新たなスタートを切りました。本年1月に開催した「釣りフェスティバル2024」では、過去最多の214社の企業・団体様にご出展をいただき、来場者数も35,848名（前年比：148.5%）と多くのお客様にご来場をいただきました。2024は、来場者並びに出展社ファーストの考えのもと、それぞれに向けた多くの新企画を実施しました。新たに発売したフライデーゴールドチケットは、レビュータイムからの優先入場、専用入場口の設置、3日間入場という特典がついたプレミアムチケットで、熱い釣りファンの期待にこたえました。会場内では、釣種別スタジアムを大きく拡大、専用のバリュー小間を新設し、7釣種129社が集結しました。また、釣りフェスティバル限定品は、各ブースでの販売を解禁し、出展社の皆様のご要望にこたえました。お子様たちが本物の魚の引きを体感できる「マス釣り」コーナーや魚が食材の料理を提供する「釣りメシスタジアム」などの人気コーナーが復活し、ファミリーが飽きることなく楽しめるショーとしました。さらに「釣り学校」では、「釣り」を広く・深く楽しむための知識や技術を伝え、新たな「釣りの魅力」を発見していただきました。

来場者・出展社アンケートでは、  
 「コロナが明け、活気が戻った釣りフェスはとても良かったです！来年もまた来ます！」  
 「見どころ満載で楽しかったです」  
 「3日間とも想像以上の来場者でした。多くのお客様にブースに来ていただきました。」  
 「物販解禁によるユーザーの購買意欲を強く感じました。懸念していた午後の集客も想像以上に多く、展示商品をしつかり見ていただきました。」

という喜ばしい声が数多く寄せられました。  
 これもひとえに出展社並びに関係者の皆様のご協力の賜物と深く感謝致しております。

さて、昨今は、コロナ禍が明けて世情が劇的に変化し、リアルショー自体の価値が変わって来ています。従来のように来場者数だけを追い求めるのではなく、来場者を初めとした関係者の皆様の満足度をいかに上げていくかという視点でのショーの企画・運営が必要だと考えております。次回の「釣りフェスティバル2025」（会期：2025年1月17日（金）～19日（日）会場：パシフィコ横浜）は、2024と同様に「釣りを楽しむすべての人へ、新しい釣りの魅力と出会う場」として、皆様の満足度を高め、持続可能なショーを創り上げてまいります。

何卒、積極的なご支援を賜りますようよろしくお願い致します。



## LOVE BLUE委員会からのお知らせ

今年度も会員企業の皆様、参加企業・団体の皆様のご理解とご協力のもと、つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業は、日本全国において公平に優先三事業（水辺をキレイに、サカナを守ろう、フィールドを広げよう）を推進して参ります。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

### LOVE BLUE プロダイバーによる水中クリーンアップ活動

プロダイバーによる水中クリーンアップ活動は、（1月から3月）では2県で9日間実施（2023年度累計：1道22県140日実施）

2024年度も社会情勢などを見極めながら、引き続き、安全作業を最優先に、ご関係の皆様と連携しながら実施して参ります。

#### 1月～3月までの実績

期 間	実施日数	実 施 場 所
3/20～3/23	4日間	茨城県土浦市 蓮河原船溜まり
3/27～3/31	5日間	長崎県南島原市 堂崎港



長崎県堂崎港

### LOVE BLUE専門機関と連携した放流事業

専門機関と連携した放流事業では今年度も引き続き、釣り人の皆様に喜んで頂ける魚種を放流しております。

都道府県	魚 種	放流尾数	放 流 場 所	放流日
長崎県	カサゴ	8,000尾	大村湾	1月18日
	クエ	4,000尾	長崎県対馬市厳原町 瀬地区 長崎県対馬市美津島町 大船越地区	3月12日



長崎県カサゴ



長崎県クエ



## 水産庁後援 つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業 内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）

本事業では、ワカサギ釣りの集客や本事業へのご応募増加に向けた取組みの1つとして、支援先のお取組み等を釣りメディアに対し定期プレスリリースを年4回（3月・6月・9月・12月）発出しております。このリリースは、もっともっとワカサギ釣りをアツくする為のお取組みを中心に業界三紙（釣具界・日本釣具新報・釣具新聞）や雑誌等の釣りメディアへ情報提供し、大切な業界ニュースとして無償にてご紹介いただいております。是非、ご確認ください。



2023年12月プレスリリースでは「南のつり2024年3月号（南のつり出版）」が埼玉県漁連と長野県下伊那漁協のお取組みを詳細にご掲載いただきました。

## 地球環境基金企業協働プロジェクトLOVE BLUE助成

独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金と連携したLOVE BLUE助成では、本事業で採択された水辺の環境保全を目的に活動する15団体（2015年度助成開始以来累計39団体）が、各地で活発に活動されています。各団体の皆様からは「LOVE BLUE助成のおかげで、より充実した活動が行えており、釣り人の皆様に深く感謝します。」と温かいお言葉を頂いております。

## 規格・安全委員会からのお知らせ

### ライフジャケット安全・啓発ワーキンググループ

規格・安全委員会LJWG（友繁淳史リーダー）では、ライフジャケット着用の啓蒙から点検の重要性を伝えるにあたり、ポスターや推奨表等を活用して、引続き、普及啓発に努めて参ります。

## 広報・組織委員会からのお知らせ

### 組織強化WG

3/25（月）に「第2回釣用品の国内需要動向調査報告書に関するセミナー～業界外から見た釣り業界とは～」を開催致しました。当日は58名の方に会場とオンラインでご参加頂きました。

セミナーは二部構成になっており、一部では釣用品の国内需要動向調査報告書について、二部ではパネルディスカッションで業界外から見た釣産業の魅力と課題について発表致しました。



### 会員向け初回無料法律相談の実施

会員の皆様へ、初回無料にて法律相談をご利用頂けるサービスのご提供を行っております。初回無料法律相談の詳細は、別添資料をご覧ください。

## 広報拡大WG

### TOKYO outside Festival 2024@新宿中央公園への出展

広報・組織委員会（櫻井孝行委員長）広報拡大WG（河原也寸志リーダー）では、当WGが企画・編集する「あした、釣り行こ！通信」の1つの施策として、釣りと親和性が高いアウトドア愛好者に向けて、釣りの楽しさを伝えています。先般、3月23日（土）・24日（日）の2日間、東京都新宿区の新宿中央公園で開催された「TOKYO outside Festival 2024@新宿中央公園」に出展致しました。生憎、初日は雨の影響等もあり、来場者数は2日間合計で約17,000人（初日約5,000人、2日目約12,000人）となりましたが、「あした、釣り行こ！通信」ブースには2日間で延べ250組（鯉釣り体験：192組、釣りスクラリー：58組）の皆さんにご参加いただけました。「昨年初めてここで釣り体験をして、釣りを始めました」という嬉しい声をいただいた親子も数組いらっしゃいました。釣りの裾野を確実に広げられたと実感しております。



## 海外戦略プロジェクトからのお知らせ

### 1 海外ビジネス情報ご登録のお願い

海外戦略プロジェクト（高階義尚リーダー）では、会員の皆様に、釣用品の海外ビジネス情報をお知らせする当工業会会員専用ページを開設しております。専用ホームページを閲覧するためには、当工業会ホームページ 海外戦略プロジェクト（下記URLもしくはQRコード）からご登録をお願い申し上げます。

<https://www.jaftma.or.jp/service/others/>

（※これまでご登録いただいていた皆様の改めてのご登録は不要です。）

現在専用ホームページでご覧いただけるコンテンツは、下記のとおりです。

1. Southwick社 アメリカ釣具市場概況
2. アメリカ釣り人口検証資料
3. TackleTradeWorld社主要国釣り及び釣具市場レポート



なお、いただいたメールアドレスには、タイムリーな海外市場情報、海外フィッシングショー情報、JETRO関連情報などをお送りいたします。

お申込み後、3営業日以内に事務局よりURL及びアクセス用ID・パスワードをお送りいたします。

### 2 セミナー開催のご案内

8月以降、海外戦略プロジェクトでは、日本貿易振興機構（JETRO）と共催で海外ビジネスに関するセミナーを開催する予定です。詳細は後日改めてご案内申し上げます。



## 会員動向

〈会員代表者変更届〉

ピュア・フィッシング・ジャパン株式会社

新代表者：須藤 武彦（すとう たけひこ）氏

前代表者：トーマス・エイ・コンロイ 氏

〈住所表示変更〉

メガバス株式会社

新表示：〒431-3115 静岡県浜松市中央区西ヶ崎町

1590-1



### 事務局だより

◆宇澤恵子さんが2月26日より、当工業会に入職いたしました。

事務局一同、より一層、職務に邁進してまいりますのでよろしくお願いいたします。

◆会員限定 国内向け賠償責任保険のご案内

本年度も、国内向け賠償責任（PL）保険制度の募集を開始しております。本制度の特徴は、団体保険料率（賠償責任保険及びリコール費用補償特約が対象）が適用されること、施設所有（管理）者賠償責任保険をオプションとして追加いただけることとなります。まずはお見積だけでもご検討いただけますと幸いです。詳細は、4月上旬にお送りした資料、もしくは当工業会ホームページをご覧ください。

◆総務省・経済産業省は、2024年6月に、「経済構造実態調査」を実施します。「経済構造実態調査」は、我が国の全ての産業の付加価値等の構造を明らかにし、国民経済計算の精度向上への寄与のほか、より正確な景気判断や効果的な行政施策の立案、実施のための基礎資料、企業経営の参考資料などに広く活用されることを目的としています。また、総務省が5年ごとに実施する「経済センサス—基礎調査」が同時に行われます。調査票が配布されましたらご回答をいただきますようお願い申し上げます。



**JAFTMA**  
JAPAN FISHING TACKLE MANUFACTURERS ASSOCIATION

一般社団法人  
**日本釣用品工業会**

〒104-0032東京都中央区八丁堀2-22-8日本フィッシング会館5F

TEL 03 (3555) 0101 (代表) FAX 03 (5542) 2929 <https://www.jaftma.or.jp/>



占拠パルプ配合率70%再生紙を使用

